

萌芽の気に満ちた 如月のふるさと

第8回

杉岡 誠 村長の 愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



もう報道もされていますが、3月13日からは「マスク着用は個人の判断が基本となります」と国が周知を始めています。と同時に、3密回避、距離の確保、手洗い・消毒、換気等の「基本的な感染対策」には引き続き取り組みましよう、と言われていました。足かけ4年間におよびコロナ禍で培ってきた「感染を予防する対策」は、私たちの財産であり知恵でもあります。「自愛」と「慈愛」を大切に「健やか」な日々を過ごしましょう。

令和4年2月号に「梅花新たに開く旧年の枝」。この言葉に深く思いをいたす月でもありましたと「三コメント」を書きました。まさしく多くの方々の想いと営みが育んできた「ふるさと飯館村」に新たな花が咲こうとしている、そんなことを感じる令和5年2月となりました。

また2月の別名に「木芽月(このめづき)」というものがあありますが、「いいたて村芸術発表祭」「福島大学食農学類の活動報告会」「いいたて村タウンミーティング」など、まさしく木々の芽吹きを感じるような月でした。「八木沢の田植踊」の復活に感動をおぼえつつ、移住されてきた村民の方々による新たな音楽披露にウキウキしたり、村外や県外出身の学生さんが村の魅力を掘り起こし、磨き上げる活動の報告を聞きながら、より多くの村民の方々と交流しながら育っていく若者の将来像を想像したり、学園の6年生の提案発表に村の「希望」たる子どもたちの学びの素晴らしさ、可能性の大きさを感じました。

ふるさと資源

発掘図鑑!

皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)
☎0244-42-1613



#あぶくまもちシュウマイ

あぶくまもちの特性を生かしたレシピの開発に協力する日本調理技術専門学校(郡山市)が、2月5日、併設する「ザ・キッチン・プラットフォーム」のイベントで飯館村をPR。「あぶくまもちシュウマイ」の試験販売などを行いました。同校が手がけるこのシュウマイと「牛ころもち」は、3月19日の午前中に道の駅までい館でも試験販売の予定(各50パック)。

#フクロウ(不苦労)さん

「村民の森あいの沢」管理人の高野靖博さん、渡邊富士男さん(飯樋町)から、木工のフクロウ約100点をいただきました。「村を訪ねてくださる方のお土産に」とのこと。木肌の風合いを生かした愛らしい作品で、幸せを願って書き入れた「不苦労」の文字も素敵です。



1体ずつクリアケースに入っています。

ひとのうごき

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
ましろ 佐藤 茉白 ちゃん	優太さん 亜理沙さん	飯樋町



HAPPY BIRTHDAY!

(1月21日から2月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

ひとのうごき 令和5年1月31日現在

人口	今月(前月比)	1月1日~31日までの人口動態
●男	2,407人(-12)	転入 2人
●女	2,395人(-8)	転出 11人
計	4,802人(-20)	出生 1人
世帯数	1,806戸(-2)	死亡 12人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏名	年齢	行政区
鳴原 峯 男 さん	81	比曾
中島 利知子 さん	91	前田・八和木
北原 清子 さん	99	宮内
須藤 徳春 さん	89	比曾
星 節 さん	99	八木沢・芦原
西 正夫 さん	85	飯樋町
高橋 久子 さん	86	上飯樋
菅野 一義 さん	88	蕨平
高野 すみ子 さん	94	前田・八和木
原田 辰男 さん	82	深谷



ご冥福をお祈り申し上げます

村民広報委員 ふじおさんの



いいたて 宝さがし 第8回

元気であること!

ある雪が降った日、青木公男さん(大久保・外内)を訪ねることにしました。電話をして近くまで行くと、飯野町の新居の通りまで迎えに出ていてくれました。

聞くと、令和2年に軽い脳梗塞で倒れ、数か月間入院されていたという公男さん。避難前は、自動車修理工場に勤めながら消防団訓練指導員をしたり、地域の手踊りに参加したりしていたとのことでした。中でも全村避難中に、行政区内の今までの生活の記録や記憶に残る思い出などを後世に残す必要があると考え、一軒一軒の家々や田畑を写真に収め、第12行政区の記録誌「おらほの風景」を編集委員長としてつくりあげたそうです。見ればなるほど素晴らしいものでした。昔の行事や手踊りの「おいとこ」(外内に伝わる伝統芸能)などの話をするときには、ゆっくり言葉を選びながら話してくれました。

妻・直子さんが淹れてくれたコーヒーをご馳走になりながら、直子さんが、病気をした公男さんを労る様子がとても優しく穏やかで、2人をうらやましくも感じ、そんな生活が2人の『宝』なんだろうな!と思いながら帰ってきました。

